

2026年度 公立鳥取環境大学 脱炭素実行計画

Scope	分類、内容	備考	2024実績	主なもの	2030目標 [2024との差]	2026	2027~2028	~2030
1	燃料の燃焼	冷暖房:LPG,灯油 車:ガソリン、軽油	327 t	LPG 320 t		太陽光発電 70.2kW	2025,2026計 91.4kW	
2	他者が供給する電気の使用		748 t	電力使用量 1,768.2MWh 排出係数(全国) 0.423t-CO2/MWh	2013比 ▲60% 2022比 ▲44%	ZEB改修 認証・工事(学生センター) 熱源・空調改修 設計・工事 ~2028 再エネ電力調達(2026~2028 3年間) 照明のLED化は2023~2025で終了		継続
		合計	1,075 t		620 t [▲455 t]			
3	カテゴリ1 購入製品・サービス	事務用品、印刷物、複写機賃借料など	623 t	用品、消耗品等 216 t 対事業所サービス 190 t 修理、修繕 58 t 書籍、印刷物 47 t コピー用紙 23 t		大学事務のDX化・ペーパーレス化 (出張旅費システム2025~、全学システム導入・運用2026~など) 削減策を検討し、可能なものから実施 (例 グリーン購入など)		
	カテゴリ2 資本財	試験研究機器等の固定資産	977 t	工具、器具等 599 t 建物附属設備 290 t 構築物 45 t		削減策を検討し、可能なものから実施 (例 環境配慮工事発注など)		
	カテゴリ3 燃料、エネルギー活動	調達燃料、電力の上流工程(採掘等)	178 t	電力 121 t LPG 57 t		※Scope 1, 2の削減に連動して減少		
	カテゴリ5 事業から出る廃棄物	廃油、廃プラ、紙ゴミなど	5 t	廃油 3 t 紙ゴミ 2 t		ウォーターサーバ運用(廃プラ削減)、大学事務のDX化・ペーパーレス化		
	カテゴリ6 出張	教職員、学生の出張	67 t	教職員 47 t 学生 20 t		削減策を検討し、可能なものから実施 (例 出張の交通手段指定など)		
	カテゴリ7 雇用者の通勤	教職員の通勤 学生の通学	288 t	学生 242 t 教職員 46 t	2022比 ▲20%	削減策を検討し、可能なものから実施 (例 ノーマイカーデー、EV利用など)		
			合計	2,138 t		1,405 t [▲733 t]		
その他						脱炭素研究(特別研究費助成「鳥取市脱炭素先行地域」~2028) 啓発イベントの実施(TUES Sustainability Week等) 脱炭素教育の充実検討、実施 エネルギー使用量、CO2排出量の見える化検討		

※ 実線は取組内容が決まって実施中、点線は具体的な取組内容、実施が未定